

## 南部コロキウムの実施と理論研究の土壌作り

橋本幸士

研究部門 理論科学研究拠点

理論科学は、その基礎に数理構造を存し、本来的に理論科学分野全てにおいて共通の礎を共にするものであるが、一方で成果主義の横行により科学社会の細分化が進み、各研究室間ですら新しい科学の芽を育てる意思疎通を損する状況となっている。そこで、本プロジェクトは、「南部コロキウム」と題した談話会を定常的に企画し、大阪大学の理論科学や物理学を中心とした研究者や学生が常に交流できる土壌を作ることを企画する。また、主宰研究会を分野横断的に開催し、理論科学の観点から自然階層を超えた理論研究の統合と応用の開拓を行い、新しい理論パラダイムを模索する。

今年度の南部コロキウムの詳細は、下記の通りである。

- \* 南部コロキウム：通例理学研究科 H701 講義室にて開催  
対象：理論科学研究者、学部生、大学院生、各回計100名程度

2016/5/26 講師：西森 秀稔氏（東京工業大学）

「量子アニーリングの光と影」

2016/7/14 講師：多賀巖太郎氏（東京大学）

「ヒト脳の形態と機能の発達」

2016/10/13 講師：齊藤英治氏（東北大学）

「スピン流とスピントロニクス of 物理」

2017/1/12 講師：Edwin L. Turner 氏（プリンストン大学）

"Implausible Life: An Unappealing But Credible Scenario for Life's Origin"

2017/2/2 講師：梶田 隆章氏（東京大学）

「ニュートリノ振動の発見」